

【博物館実習までの流れ】

3月上旬～末:実習希望者の応募

富山県美術館のホームページより、博物館実習の実施要項、必要提出物について確認し、応募。

必要書類:

- ① 顔写真付きの履歴書
- ② 当館で受入れを希望する理由書(レポート)

(本人→担当者)※郵送か持参のこと



4月末決定:実習の可否連絡

富山県美術館で協議(希望者多数の場合は書類選考)の上、受け入れの可否(内諾)を連絡。
(担当者→本人及び場合によっては大学)

※4月末を目途に美術館よりご連絡いたします。

※他の美術館での実習の内諾を優先する場合、すみやかに辞退してください。



〈受け入れ可能な場合〉

5月:書類提出/送付

1)所属大学から富山県美術館 館長宛に正式な実習依頼文を5月中旬までに提出ください。
(大学→美術館)

2)依頼文に対して美術館より大学宛に博物館実習の承諾の書面をお送りします。
(美術館→大学)

※大学から提出された実習申し込みの書面の受領をもって正式な実習申し込みとします。

※5月末までに一連の手続き完了。



6月以降:実習受講準備

実習日程などの連絡事項をお伝えします。(美術館→大学または本人)

博物館実習に関する保険加入済みの連絡、宣誓書など必要に応じて美術館に提出願います。



8月:実習参加

富山県美術館にて博物館実習を受講。